

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	自動車公害対策事業				シート番号	010-020	
担当部署名	環境	局	環境保全	部	環境対策	課 評価責任者(課長名)	是常

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	循環型社会推進と自然環境の保全・再生	無
	2	事業開始年度	平成 4 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法)			
	4	関連計画	第3次堺市環境基本計画、自動車NOx・PM総量削減計画(大阪府)			
5	事業実施の経緯	これまで、自動車交通の集中、増大に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に係る大気汚染の改善について、「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法」に基づき、大都市域における大気環境基準を達成するため関係機関と連携し、自動車環境対策を進めてきた。その目標達成に向けた諸施策のひとつとして、エコドライブの普及・啓発に取り組んでいる。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民及び市内の事業所				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	自動車NOx・PM総量削減計画(大阪府)に基づき、大気汚染の原因となる自動車排出ガス中のNO2等の削減をめざし、関係団体と連携し、情報提供やセミナーの開催、自動車運転者への講習会等を実施し、市民・事業者の自主的なエコドライブの実践に向けた取り組みを行う。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市民・事業者に向けたエコドライブ講習会、イベントにおけるエコドライブシミュレーター体験ブースやパネル展の出店など、普及啓発活動を行う。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 大阪自動車環境対策推進会議					

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費(a)	千円	1,023	646	503	323	473	362	395	
	主な事業費内訳	報償費	千円	500	250	250	250	250	250	250
		役務費	千円	400	293	0	0	0	0	0
		旅費	千円	23	17	55	17	55	20	50
		需用費	千円	100	80	98	56	98	73	95
	財源内訳	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	0	0	0	0	0	0	0
		市債	千円	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	千円	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,023	646	503	323	473	362	395
	12	人件費(b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,460	2,430	2,430	2,460
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	3,483	3,106	2,963	2,783	2,903	2,792	2,855	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	自動車公害対策事業	シート番号	010-020
-------	-----------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載	<b>【達成率に基づいた評価基準】</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">評価</th> <th style="width: 70%;">達成率</th> </tr> <tr> <td>大変良い</td> <td>120%以上</td> </tr> <tr> <td>良い</td> <td>100%以上120%未満</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>80%以上100%未満</td> </tr> <tr> <td>少し悪い</td> <td>60%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	評価	達成率	大変良い	120%以上	良い	100%以上120%未満	普通	80%以上100%未満	少し悪い	60%以上80%未満	悪い	60%未満
評価		達成率											
大変良い		120%以上											
良い		100%以上120%未満											
普通		80%以上100%未満											
少し悪い	60%以上80%未満												
悪い	60%未満												
[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載													

#### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	事業所向けのエコドライブ講習会を3事業所において4回実施、延べ37人が受講し、市民向けの講習会も東・南区民まつりにおいて実施し、延べ120人の受講があった。 受講者数は前年度比で減少したものの、エコドライブの普及啓発を行うことで、自動車排出ガス中のNO2等の削減に一定の効果があったと考える。						
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	講習会開催回数	回	目標値	29	16	6	6
				実績値	16	6	6	
				達成率	55%	38%	100%	
				評価	悪い	悪い	良い	
	算出方法・設定根拠など		エコドライブ講習回数を指標として設定。講習会は前年度と同規模程度の開催予定のため、目標値は前年度の実績値を設定。					
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	16	エコドライブ普及啓発人数	人	目標値	313	439	205	157
				実績値	439	205	157	
達成率				140%	47%	77%		
評価				大変良い	悪い	少し悪い		
算出方法・設定根拠など		エコドライブ講習会及び関連セミナー参加者数を指標として設定。講習会・セミナーは前年度と同規模程度の開催予定のため、目標値は前年度の実績値を設定。						

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	講習会開催回数	回	16	6	6
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,106	2,783	2,792
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	194,125	463,833	465,333
	備考(算出についての説明等)		年間経費は総コストから算出			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	エコドライブ普及啓発人数	人	313	439	205
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,106	2,783	2,792
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	9,923	6,339	13,620
	備考(算出についての説明等)		年間経費は総コストから算出			

#### 業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	目標を達成できなかった要因については、区民まつりの参加が3区から2区に減ったことによる影響である。 近年、自動車メーカーによる環境性能の高い車両の開発や、アイドリングストップ等のエコドライブシステムが標準で装着された車両の普及が進んでいることから、車両を有する事業者に向けての普及啓発を重点に実施していく。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	自動車公害対策事業	シート番号	010-020
-------	-----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞  
 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる  
 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できる <input type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 市民、事業者等がエコドライブの実地体験を行う機会の減少	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 休止の場合の再開時期	<input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要があるか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 関連事業名 ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他( )	理由・説明	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input checked="" type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	自動車NOx・PM総量削減計画に基づき、自動車排出ガス中のNO2等の削減をめざし、エコドライブ講習会等を実施してきたが、自動車排出ガス中のNO2等の削減に一定の効果があったことから、費用対効果等を加味し、当事業は廃止する。		